

旅先で“もしも”の時に、
会員様をしっかりとサポートします。

海外旅行傷害保険

会員様のご旅行中の事故を補償します。

海外旅行傷害保険



支払限度額と保険責任期間

保険の種類	担保内容	本会員	保険責任期間
海外旅行傷害保険	傷 害	3,000万円	最高30日
	治 療 費 用	100万円	
	疾 病 治 療 費 用	100万円	
	賠 償 責 任	2,000万円	
	携 行 品 損 害※	30万円	
	救 援 者 費 用	100万円	

※携行品損害は、自己負担額3,000円、1品あたり10万円が限度となります。

保険金をお支払いできない主な場合

■海外旅行傷害保険の傷害死亡・後遺障害、傷害治療費用

●故意 ●けんか、自殺、犯罪 ●無資格運転、酒酔い運転 ●脳疾患、疾病、心神喪失 ●医学的他覚所見の無いむちうち症、腰痛等 ●スカイダイビングなどの危険なスポーツ中の事故 ●海外旅行傷害保険について土木建設工事などの危険な職業に従事する事故 ●戦争・侵略行為、反乱、暴動 など

■海外旅行傷害保険の疾病治療費用・救護者費用

●故意 ●けんか、自殺、犯罪 ●他覚症状のないむちうち症、腰痛 ●妊娠、出産、流産およびこれらに基づく病気 ●歯科疾病 ●既往症 など

※救護者費用については、自殺、妊娠、出産、流産で被保険者(保険の対象となる方)が死亡したときはお支払いの対象となります。

■海外旅行傷害保険の賠償責任

●職務執行に直接起因する損害事故 ●親族に対する損害事故 ●受託物に対する損害事故 ●自動車などの事故による損害事故 ●心神喪失に起因する事故または故意の事故 など

■海外旅行傷害保険の携行品損害

●携行品の暇耗または自然消耗 ●携行品の置き忘れまたは紛失 ●借りたり、預かっている携行品の事故 ●現金、小切手、クレジットカード等の損害 ●パスポートの紛失 など

■引受保険会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社(引受幹事保険会社)
セゾン自動車火災保険株式会社

共同保険契約に関するご説明
この保険は上記の保険会社による共同保険契約であり、幹事保険会社が、他の引受保険会社の代理、代行を行っております。各引受保険会社は、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。

MileagePlusセゾンカード マイルアップメンバーズ

海外旅行傷害保険 のご案内

(補償規定)

ACCIDENT INSURANCE

■海外傷害保険

2017年10月1日以降に出発されるご旅行から適用となります。

SAISON
CARD
INTERNATIONAL
クレディセゾン

海外旅行傷害保険のあらまし (保険責任期間:最高30日)

担保項目	こんなとき	お支払いする保険金
傷害	死亡・後遺障害	被保険者(保険の対象となる方)が、責任期間中に偶然な事故によりケガをして事故の日から180日以内に死亡されたとき、または後遺障害が生じたとき。 死亡されたとき……死亡後遺障害保険金額の全額をお支払いします。 後遺障害が生……後遺障害の程度に応じたとき 死亡後遺障害保険金額の3%から100%をお支払いします。 (注)死亡保険金と後遺障害保険金は重複してお支払いしますが、支払保険金の総額は死亡保険金額をもって限度とします。
	治療費用	被保険者が、責任期間中に偶然な事故によりケガで医師の治療を受けられたとき。 100万円を限度とし、事故の日(疾病の場合は医師の治療を開始した日)から180日以内に治療のために現実に支出した次の費用をお支払いします。 ①医師による治療費、手術費、入院費 ②緊急移送費、入院または通院のための交通費、通訳雇入費、医師・職業看護師の付添費 ③義手、義足の修理費(傷害治療費用のみ) ④治療による入院により必要となった旅行行程に復帰するためのまたは直接帰国するための交通費および宿泊費 ⑤入院のために必要となった国際通話料、身の回り品購入費用(5万円限度)等 (1事故について20万円限度) (注) 社会保険等の制度により被保険者が診療機関に直接支払うことが必要とされない部分は、お支払いの対象となりません。
疾病治療費用	①責任期間中または責任終了後72時間以内に発病し、かつ医師の治療を開始された場合は、責任期間中に原因が発生したものに限ります。 ②責任期間中に感染した特定の伝染病(コレラ、ペスト、天然痘、発疹チフス、ラッサ熱、マラリア、回帰熱、黄熱、重症急性呼吸器症候群(SARS)、エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、マールブルグ病、コクシオアイデス症、デング熱、顎口虫、ウエストナイル熱、リッサウイルス感染症、腎臓急性出血熱、ハンタウイルス肺症候群、高病原性鳥インフルエンザ、ニパウイルス感染症、赤痢、タンニ媒介性脳炎、腸チフス、リフトバレー熱、レプトスピラ症)のために責任期間終了後30日以内に医師の治療を開始された場合。	
賠償責任	被保険者が、責任期間中に偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして法律上の損害賠償責任を負ったとき。	2,000万円を限度としてお支払いします。 (注)賠償額の決定については、事前に保険会社の承認が必要です。
携行品損害	被保険者所有の携行品(現金、小切手、クレジットカード、定期券、運転免許証、コンタクトレンズ、各種書類および別送品を除きます。)が責任期間中に火災や盗難等の偶然な事故により損害を受けたとき。	1つ(1組または1対)あたり10万円(航空券・乗車券等の損害については5万円)を限度として自己負担額3,000円を控除した額をお支払いします。ただし、パスポート損害については再発給費用、渡航書の取得費用を5万円を限度として損害額とします。 (注)修理費および再調達に要する費用については、その被害にあった財物の時価額を超えない範囲でお支払いします。
救済者費用等	被保険者が責任期間中に①事故により遭難(行方不明を含みます。)されたとき。 ②事故によるケガが原因で180日以内に死亡もしくは7日以上継続して入院されたとき。 ③病気により死亡されたとき。 ④病気にかかり旅行終了日から30日以内に死亡もしくは7日以上継続して入院されたとき。	100万円を限度として次の費用をお支払いします。 ①捜索救助費用 ②現地との航空運賃等交通費(救済者3名まで) ③現地および現地までのホテル客室料(救済者3名かつ1名については14日分まで) ④現地からの移送費用 ⑤遺体処理費用(100万円限度) ⑥救済者の渡航費用および現地での諸雑費(20万円限度) (注)救済者とは捜索、看護、事故処理を行うために現地へ赴く被保険者の親族をいいます。

(注)「責任期間」とは、海外旅行の目的で住居を出発したときから住居に帰着するまでの間であつて日本を出国した前日の午前0時から日本に入国した翌日の午後12時までの間を日本を出国した日から最長30日間が補償されます。
(注)他のクレジットカード付帯の保険契約から死亡・後遺障害保険金が支払われる場合、これらのカードの最も高い保険金額を限度に按分して、保険金をお支払いします。
(注)ご出発前に特別な手続きは必要ありません。
(注)事故の発生した日から30日以内に事故発生状況および事故の程度を損保ジャパン日本興亜へご連絡ください。

旅行傷害事故の通知について

事故の通知については下記までご連絡ください。連絡がとれましたら次の事項をお伝えください。
 MileagePlusセゾンカードマイルアップメンバーズ会員であること、カードの種類、会員番号、出国日、日本の住所と電話番号、海外での連絡先。
■日本国内からのご連絡先
損保ジャパン日本興亜事故受付デスク(24時間受付、年中無休)

☎0120-130-242 ☎018-888-9299

■海外メディカルヘルプラインお問い合わせ先

ケガ・病気などで困りのとき、電話1本で医療・緊急手配サービスを行います。
(24時間・年中無休・日本語対応)

お客様の滞在地	電話番号	センター
北米・中南米	アメリカ本土・ハワイ・アラスカ・カナダ 1800-233-2203 (無料電話) メキシコ 001-855-835-2554 (無料電話) ブラジル 0800-892-1256 (無料電話)	アメリカセンター
ハワイ	無料電話がご利用にならない場合や上記以外の国・地域から アメリカ本土内から 804-673-1144 アメリカ本土外から (1)804-673-1144	
中国	中国(香港・マカオを除く) 800-810-9784 (無料電話) 香港 800-968-845 (無料電話) マカオ 080-0382 (無料電話)	中国センター
アジア・オセアニア・グアム・サイパン	無料電話がご利用にならない場合 中国国内から 010-8447-5985 中国国外から (86)10-8586-6149	
アジア・オセアニア・グアム・サイパン	台湾 00801-65-1166 (無料電話) シンガポール 1800-3041756 (無料電話) マレーシア 1800-80-1013 (無料電話)	シンガポールセンター
アジア・オセアニア・グアム・サイパン	無料電話がご利用にならない場合や上記以外の国・地域から シンガポール国内から 6535-5554 シンガポール国外から (65)6535-5554	
アジア・オセアニア・グアム・サイパン	韓国 00798-651-7029 (無料電話) インドネシア 001-803-65-7187 (無料電話) フィリピン 1800-1-651-0065 (無料電話) タイ 1800-600-234 (無料電話) ベトナム 12065143 (無料電話) グアム・サイパン 1877-232-0747 (無料電話) オーストラリア 1800-553-152 (無料電話) ニュージーランド 0800-44-9345 (無料電話)	タイセンター
アジア・オセアニア・グアム・サイパン	無料電話がご利用にならない場合 タイ国内から 02-302-6535 タイ国外から (66)2-302-6535	
アジア・オセアニア・グアム・サイパン	イギリス 0800-312-002 (無料電話) フランス 0800-90-84-60 (無料電話)	
欧州・アフリカ・中近東・ロシア	イタリア 800-791-034 (無料電話) ドイツ 0800-182-3992 (無料電話)	イギリスセンター
欧州・アフリカ・中近東・ロシア	無料電話がご利用にならない場合や上記以外の国・地域から イギリス国内から 01444-444-851 イギリス国外から (44)1444-444-851	
各センターに連絡が取れない場合	海外から (81)3-3811-8127 日本国内から 03-3811-8127	東京センター

※ジャンマー・カンボジア・ラオスはタイセンターへご連絡ください。
 ※夜間・週末等で、MileagePlusセゾンカードマイルアップメンバーズの会員であることの確認がとれない場合には、可能な範囲(日本語の通じる病院の紹介など)でのアシスタンスをご提供しますが、キャッシュレスサービスの提供はできませんのでご了承ください。

■海外ホットライン・お問い合わせ先

ケガ・病気以外のトラブルの場合の相談サービスです。
(24時間・年中無休・日本語対応)

お客様の滞在地	電話番号	オフィス
北米・中南米	アメリカ本土・ハワイ・アラスカ・カナダ グアム・サイパン 1800-366-1572 (無料電話)	ロサンゼルス オフィス
北米・中南米	無料電話がご利用にならない場合や上記以外の国・地域から アメリカ本土内から 949-437-9632 アメリカ本土外から (1)949-437-9632	
中国	中国(香港・マカオを除く) 800-820-8775 (無料電話) 無料電話がご利用にならない場合 中国国内から 021-6841-2029 中国国外から (86)21-6841-2029	上海オフィス
中国	香港・マカオ 2868-4392 台湾 00801-855-769 (無料電話) 韓国 00798-8521-6279 (無料電話) シンガポール 6738-3959	香港オフィス
アジア	タイ 001-800-656-348 (無料電話) 無料電話がご利用にならない場合や上記以外の国・地域から (65)6738-3959	シンガポール オフィス
オセアニア	オーストラリア 1800-02-1066 (無料電話) 無料電話がご利用にならない場合や上記以外の国・地域から オーストラリア国内から 02-8218-5097 オーストラリア国外から (61)2-8218-5097	シドニー オフィス
欧州・アフリカ・中近東・ロシア	イギリス 0800-028-89-32 (無料電話) フランス 0800-770-241 (無料電話) イタリア 800-781-810 (無料電話) ドイツ 0800-182-1737 (無料電話)	ロンドン オフィス
欧州・アフリカ・中近東・ロシア	無料電話がご利用にならない場合や上記以外の国・地域から イギリス国内から 020-8080-0250 イギリス国外から (44)20-8080-0250	
各オフィスに連絡が取れない場合	海外から (81)18-888-9299 日本国内から 0120-130-242 (無料電話) 018-888-9299	日本オフィス

※香港・マカオは香港オフィスへご連絡ください。

電話ご利用上の注意点
 ※上記は、2017年8月現在となっており、今後変更することがあります。
 ●()内は国番号です。無料電話利用時には、国番号が不要です。
 ●無料電話は、公衆電話・携帯電話からご利用にならない場合があります。その場合は「無料電話がご利用にならない場合や上記以外の国・地域から」に記載の電話番号へコレクトコールをおかけいただくか、「折り返し電話」するよう各センター・オフィスにお申し付けください。
 ●「無料電話」の表示がない電話番号は「ダイヤル直通電話(有料)」となりますので、コレクトコールをおかけいただくか、「折り返し電話」するよう各センター・オフィスにお申し付けください。
 ●無料電話やコレクトコールをご利用にならない場合の電話料金はお客様ご負担となります。
 ●地域によっては国内通話料相当額が必要になる場合があります。
 ●宿泊施設内電話の利用料や、携帯電話の種類により受信の際に利用料が発生する場合は、お客様ご負担となります。
 ●各国での電話事情等により電話がかかりにくい場合は、「海外メディカルヘルプライン東京センター(上記)」「海外ホットライン日本オフィス(上記)」または、他のセンター・オフィスへお問い合わせください。
 ●お電話をいただいた時間帯や状況によっては、他のセンターへ電話が転送される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 ●各電話番号については最新のものを掲載していますが、現地電話制度の事情等により急な変更が生じることがあります。